

## 平成 31 年 3 月定例教育委員会 会議録

- 1 日 時 平成 31 年 3 月 27 日 (水) 開 会 午前 9 時 30 分  
閉 会 午前 11 時 00 分
- 2 会 場 茅野市役所 704 会議室
- 3 出席委員 教育長 山田 利幸 同職務代理者 矢崎 靖雄  
教育委員 小平 光子 教育委員 濱 勝之  
教育委員 永嶋 陽子
- 出席者 こども部長 牛山津人志 生涯学習部長 平出 信次  
こども課長 五味 健志 幼児教育課長 五味留美子  
学校教育課長 有賀 淳一 生涯学習課長 藤森 隆  
中央公民館長 矢島喜久雄 文化財課長 両角 勝元  
スポーツ健康課長 中村 浩明 教育総務係長 渡辺 雄一  
教育総務係長 渡辺 雄一 生涯学習係長 伊藤 研一  
教育総務係校務担当 立石 淳二 教育総務主事 牛山 紘貴
- 4 傍聴者 3 名

## 3 月定例教育委員会次第

日 時 平成 3 1 年 3 月 2 7 日（水）午前 9 時 3 0 分から

場 所 市役所 7 0 4 会議室

### 1 開 会

### 2 前回会議録の承認

### 3 報告事項

第 1 号 教育長報告

第 2 号 各課からの報告

（1）学校教育課

（2）こども課

（3）幼児教育課

（4）生涯学習課

（5）公民館

（6）文化財課

（7）スポーツ健康課

第 3 号 教育委員会共催後援

（1）生涯学習課

（2）スポーツ健康課

### 4 議 案

（1）4 月 1 日付教育委員会関係の人事について

（2）教育委員会事務局職員の人事異動について

（3）茅野市社会教育委員等の委嘱について

### 5 検討事項

今回はありません。

### 6 その他

（1）市議会 3 月定例会一般質問について

（2）市長部局規則改正について

（3）保育所運営審議会委員の選出について

（4）全国学力・学習状況調査について

（5）永明小学校永明中学校建設基本構想案について

（6）長野県宝の貸出し基準について

次回定例教育委員会日程について

4 月 2 3 日（火）午前 9 時 3 0 分「7 0 5 会議室」

（事務局会議 4 月 1 1 日（木）午前 9 時 0 0 分「7 0 5 会議室」）

### 7 閉会

教育長

只今から3月定例教育委員会を開催します。

前回2月の会議録の確認をします。承認としてよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

報告事項に入ります。報告第1号をご覧ください。3月1日に多留姫の文学自然の里の表彰式がありました。原天明先生より賞状をお渡しいただき、また作品を本日短冊にしたためて下さいました。2日に茅野高校の卒業式がありました。99名の卒業生がおり、皆勤・精勤が内14名いました。茅野高校の校長先生ともお話しをしましたが、小学校、中学校、高校をつなぐ教育理念を何か一つ考えていこうと懇談をしたところです。3日に「永明寺山ふれあいの森を創る会」の総会がありました。永明小学校、永明中学校の総合、生活科において会員の方が子ども達と共に活動をしていただいています。同日に茅野市美術協会の総会・懇親会がありました。5日に今年度最後となる不登校対策委員会がありました。中学への引継ぎが主となりました。6日に伊藤岩廣先生の叙勲伝達式がありました。8日に業務改善推進委員会がありました。子どものための働き方改革であり、子どものための学校づくりも目指していきます。9日にロングモントの交流選考会がありました。8名全員が合格しました。それぞれの子どもたちが目的を持ってロングモントへ行きます。11日にICTモラルアップ研修会がありました。来年度も引き続いてモラルアップの研修会で学校へ呼びかけていこうと思います。SOSの問題は見えないだけに、引き続き注意をしていきたいと思います。12日に予算決算委員会、パートナーシップのまちづくり委員会がありました。14日に諏訪養護学校の卒業式がありました。小学部から高等部までで茅野市から通っている子ども達が卒業しました。自分が障害を持っていることを負い目として一切感じていませんでした。障害があってもそれを苦とせず一生懸命に生きており、卒業も心から喜んでいました。同日に市長引継ぎのヒアリングがありました。15日に北部中学校の卒業式がありました。たいへん感動的な卒業式でした。委員の方々には、それぞれの卒業式に出席していただき、ありがとうございました。午後には日本少年野球全国大会出場報告がありました。社会体育でクラブを作ってやっているチームになります。長野県内には4チームあります。茅野市からは9名の子ども達が出場します。16日に聖母幼稚園卒園式、保育所保護者連合会懇親会がありました。18日に公民館運営審議会、保育協会総会・送別会がありました。19日に宮川小学校卒業式、市内教員送別会がありました。ご出席ありがとうございました。20日に要体協の最終回がありました。やまびこ園修了式があり、30人が修了しました。またそれぞれの保育園に戻っていきます。同日に民生児童委員会があり、来年度のコミュニティスクールの関係でご協力をお願いしてきたところです。21日に総合博物館

の市民研究員認定式がありました。講座において1年に8回以上3年間出席し、指導員の方に推薦され、運営委員会から許可がでた方だけが認定となります。今回は30名の方が認定となりました。22日に金沢、宮川保育園の卒園式がありました。同日の連合婦人会では子どもたちのSOSの出し方について講話をしてほしいということで出席し、市の取組と子どもの様についてお話ししました。24日に「茅野市ニホンリスの会」総会、「読り一む in ちの」まとめの会がありました。25日に藤森民雄氏の叙勲伝達式がありました。26日に「永明小中建設基本構想」受領式がありました。27日の本日は行政アドバイザーの森田洋司先生がお見えになり、夕方にこども部を中心に情報交換会を開催します。28日には図書館協議会、サポートルーム打ち合わせ会があります。29日には庭球場の始球式があります。30日にはゴルフ場オープン、守矢史料館専門委員会があります。

報告は以上となります。ご質問等ありますか。

無いようなので、次に各課から報告事項第2号についてお願いします。

[各課から4月行事予定について報告]

資料（報告第2号）

教育長

次に報告事項第3号、教育委員会共催・後援についてお願いします。

[生涯学習課・スポーツ健康課から教育委員会共催・後援について報告]

資料（報告第3号）

教育長

報告事項について何かありますか。無いようですので次に移ります。

議案第1号「4月1日付教育委員会関係の人事について」をお願いします。

こども部長

議案第1号の資料をご覧ください。

教育支援指導主事及び教育指導主事任命予定者の表となります。

教育支援指導主事については4名の先生方をお願いをする形となります。また、教育指導主事については2名の先生方をお願いをします。

教育長

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

無いようですので、次に議案第2号「教育委員会事務局職員の人事異動について」をお願いします。

#### こども部長

議案第2-1号の資料をご覧ください。職員の異動の関係となります。1ページについては、私が定年となりますので、私の後任として学校教育課長の有賀淳一さんが入られます。学校教育課長の後任には宮川地区コミュニティーセンター所長の五味正さんが入られます。下段については、係長の異動になります。本日出席をしている職員については、教育総務係長の渡辺雄一さんが秘書係長に転出となります。教育総務係長の後任には教育総務係校務・建設担当の立石淳二さんが入ります。こども係長の今井明彦さんについては交通安全係長に転出となります。後任には環境保全係長の宮下孝さんが入られます。詳細については資料をご覧ください。2ページまでが係長の異動、3ページが主査以下の職員の異動となります。4ページが保育園関係、5ページが新採用職員の関係、6ページが再任用の関係となります。7ページの退職の関係ですが、上段では私が退職となります。中段では文化財係長の小林健治さんが退職となります。下段では再任用の文化財係主査の小林深志さんが退職となります。

続いて、議案第2-2号をご覧ください。部内異動の関係となります。2ページ中段以降が教育委員会関係職員の名簿となります。

議案第2号については以上となります。

#### 教育長

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

次に議案第3号「茅野市社会教育委員等の委嘱について」をお願いします。

#### 生涯学習課長

議案第3-1号をご覧ください。社会教育委員の関係になります。ほとんどの方が再任用となりますが、新任の方が4名いらっしゃいます。茅野市PTA連合会会長の小林洋一さん、東海大付属諏訪高等学校校長の中村正幸さん、NPO法人茅野市体育協会会長の宮坂章さんとなります。もう1名は校長会からとなりますが、4月に決定する予定です。

続いて議案第3-2号をご覧ください。茅野市公民館運営審議会委員の関係になります。こちらにつきましても、ほとんどの方が継続となります。新任の方は3名となります。校長会については、先程同様4月に決定予定です。茅野市PTA連合会会長の小林洋一さん、NPO法人茅野市体育協会の佐竹ちずかさんが新任となります。

こちらにつきまして、ご承認をいただきたいと思いますのでお願いいたします。

#### 文化財課長

続いて、議案第3-3号をご覧ください。茅野市文化財審議委員会の関係になります。新任としましては、考古が専門の鵜飼幸雄さんとなります。また、博物館協議会につきましては、4月の定例教育委員会で提出させていただきますので、よろしくをお願いいたします。

スポーツ健康課長

続いて、議案第 3-4 号をご覧ください。茅野市スポーツ推進委員の関係となります。来年度は新任の方が 2 名いらっしゃいます。それ以外の方につきましては、再任という形になります。以上です。

教育長

ありがとうございました。議案につきまして、承認としてよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

次にその他 1「市議会 3 月定例会一般質問について」お願いいたします。

生涯学習部長

その他 1 の資料をご覧ください。山岸正衛議員より史跡の整備、活用について質問をいただきました。

(1) 駒形遺跡、上之段遺跡の整備と活用方法について、駒形遺跡は、平成 10 年に国史跡に指定されました。平成 26 年、27 年度に国史跡に追加指定となった部分を平成 29 年度に公有地化し、3 万 1,730.12 平方メートルの公有地化を完了し、同年には説明看板を設置してきました。遺跡の性格を活かし、黒曜石交易を示す展示や、大清水を活かした整備など、「縄文黒曜石の里」として遺跡の活用を目指して行きます。

上之段遺跡は、昭和 17 年に国史跡に指定されました。平成 18 年度から平成 20 年度にかけて、指定面積 2 万 4,222.97 平方メートルの公有地化を完了しました。現在は、市内の小学生を中心に、土器・石器類を拾い集める「表面採集」を毎年継続し、縄文・市民科の体験学習の場として活用しながら、考古学の基礎的調査を進めています。平成 30 年度には説明看板を設置しています。表面採集後は、試掘調査を実施し、遺跡の実態解明を進め、総括した後に文化庁と協議をしていきます。この遺跡は、「縄文文化交流拠点の里」として、遺跡の整備を進めていきます。

両遺跡とも田園風景を保全し、地域の皆さんと憩いの場や交流の場など、様々な活用を考えていきたいと回答をさせていただきました。

(2) 棚畑遺跡の整備について、棚畑遺跡は、工業団地の造成に伴い、昭和 61 年に発掘され、縄文時代中期の環状集落が、二つ並んで発掘されました。

現在、工場敷地の一角に国宝出土地であることを示す石碑と説明看板を設置しています。石碑は昭和 61 年に建立され、国宝土偶出土地であることを表示しています。説明看板は、平成 23 年に設置し、縄文のビーナスの出土状況と棚畑遺跡について解説しています。

遺跡は、残念ながら調査終了後に工場団地に造成され消滅していることから、整備は困難な状況であります。

棚畑遺跡については、尖石縄文考古館の国宝展示室で紹介しています。その他、展示図録や茅野市縄文ガイドブック、茅野市縄文プロジェクトのホームページで紹介をしています。

文化財課では、「縄文遺跡をめぐるバスツアー」を毎年開催し、尖石遺跡・上之段遺跡・駒形遺跡・中ッ原遺跡・棚畑遺跡を巡り遺跡の認知度を高めています。

今後、地元や茅野市縄文プロジェクト実行市民会議の皆さんなどによりよい方法を考えていきたいと回答をさせていただきました。

(6) 史跡を活用したネットワークづくりについて、『縄文の里史跡整備・活用基本構想』を受け、平成 30 年 3 月には、『縄文の里史跡整備・活用基本計画』を策定しました。基本計画では、尖石遺跡を「縄文集落の里」、上之段遺跡を「縄文文化交流拠点の里」、駒形遺跡を「縄文黒曜石の里」と位置付け史跡の整備方針を示し、三つの遺跡を活用してのネットワークづくりを掲げています。具体的には、史跡を巡るルートの表示板や総合案内板の設置を考えています。

また、今年度「星降る中部高地の縄文世界」が日本遺産の認定を受けました。長野県と山梨県にまたがる 14 市町村が共同で縄文遺産の活用に取り組むこととなり、「甲信縄文文化発信・活性化協議会」が組織されました。今年度は、ガイドブックの作成、日本遺産看板の設置、体験プログラムの開発など、多種多様な事業が実施されます。次年度以降は公民協働で本格的な事業が展開されることになります。

今後、茅野市は縄文史跡・歴史的な遺産の包括的な整備と活用を目指すとともに、市域を越えたネットワークの中で、茅野市の縄文遺産を世界に向け発信していきたいと回答をしました。

#### こども部長

続いて、伊藤玲子議員より児童虐待・ネグレクト等の未然防止の取組について 3 項目の質問をいただきました。1 つ目が児童虐待・ネグレクト等の相談・指導などの関わりを持った件数の推移についてです。平成 30 年度は、1 月末で新規相談件数 286 件、延べ 3,811 件と回答をさせていただきました。内訳については記載の通りであることを説明させていただきました。2 つ目が解決に向けての取組と現状について質問をいただきました。こちらについては、「育ちあいちの」の状況について説明をさせていただきました。詳細は書かれている通りとなります。3 つ目が未然防止の取組について質問をいただきました。「育ちあいちの」では、家庭への介入とともに要保護児童地域対策協議会ケースとして進行管理を行っていくと回答をしました。

続いて、伊藤正陽議員より 4 月末からの 10 連休中の公的機関等の市民サービスについて 2 項目の質問をいただきました。1 つ目が保育園及び学童保育の対応についてです。保育園

の対応について4月27日は通常どおり全園で開園。4月30日、5月2日はちの保育園と北山保育園で希望保育の実施をすると説明をしました。学童クラブの対応については、4月30日、5月2日は開所をしたい。第一玉川小学校学童クラブにて開所する方向で準備を進めているという回答をさせていただきました。

生涯学習部長

(2) 市が実施している貸し館業務については、全ての施設で期間中は通常営業をしていると回答をしました。その中で家庭教育センターについては事前に鍵の受け渡しを行い対応していくと回答をしました。

こども部長

続いて、樋口敏之議員より発達障害支援について2項目の質問をいただきました。1つ目の発達障害支援については、発達障害の定義について説明し、平成26年に発達支援センターを設置し、支援に取り組んでいることを説明させていただきました。支援の必要な状況になりますが、3歳以上児で3.8%、小学校児で2.2%と回答をし、それに対する対応については、保育園では加配保育士、小学校では特別支援教育支援員を配置しており、LD等通級指導教室を設置していることについて説明させていただきました。

2つ目のこれからの対応については、質の向上のための取組等について説明をさせていただきました。研修の実施や来年度は学習支援員を3名配置する予定であり、地域で支え合えるような環境づくりに努めていきたいと回答をしました。

続いて、松山孝志議員より柳平市政としての縄文への取組について質問をいただきました。縄文が活かされたひとづくりの成果については、縄文科学習について説明をさせていただきました。縄文科の主旨、成果、目的、小中学校での活動内容、縄文検定やイベント等についての説明をさせていただきました。詳細は資料に書かれている通りとなります。

続いて、望月克治議員より消費税増税が茅野市に与える影響について質問をいただきました。増税分による少子化対策の影響については、幼児教育の無償化が10月1日からスタートします。それに伴い、非課税世帯等の子どもの入所が増加することが予想されることから、待機児童が発生することが懸念されることを説明させていただきました。

続いて、その他1-2号をご覧ください。平成31年茅野市議会3月定例会議決結果についてとなります。前回の定例教育委員会において議案の内容に関する説明をさせていただきました。改めて議案第1号が平成30年度宮川第二保育園改修建築主体工事の請負契約について。議案第2号が平成30年度中大塩保育園改修建築主体工事請負契約について。議案第6号が茅野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について。議案第10号が平成30年度茅野市一般会計補正予算（第8号）について。議案第12号が平成31年度茅野市一般会計予算についてが関係する議案となっております。議決結果については全て可決となりました。

その他 1 については以上となります。

教育長

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

特に無いようなので、次にその他 2 についてお願いします。

幼児教育課長

その他 2-1 の資料をご覧ください。茅野市民間特定教育・保育施設等補助金交付要綱の一部改正について。こちらの要綱については、民間で運営をしている私立保育園、認定こども園等に対して運営を補助する補助金となっています。改正する部分については、障害児のお子さんが入所を希望する際に、公立・私立を問わず入所ができることを保障する趣旨に基づき、私立に入所を希望する方についても加配保育士の人件費相当分を補助し、受け入れ態勢を整える内容となっています。今までの補助金額については、市内の嘱託保育士の月額賃金の最高額を基準として支払いをしていました。賞与や社会保険料事業主負担分などが補助金の中に含まれていなかったことから、その内容を是正する目的で改正をさせていただきました。主な内容については、そのような主旨の基で改正をさせていただいています。こちらについては、平成 31 年 4 月からの施行ということで来年度の対象者から運用をしていきたいと思います。以上となります。

こども課長

続いて、その他 2-2 の資料をご覧ください。茅野市こども・家庭の豊かな未来づくり推進本部の設置についてお願いします。1、2 ページ目が内容の説明となっています。3、4 ページ目が要綱となっています。子どもの貧困問題が社会的に解決すべき課題として取り上げられる中で、茅野市として子どもの貧困対策に関する取組を、要綱を定めて推進本部を設置して全庁的に推進していくことを目指すものです。名称については、貧困対策より前向きな姿勢を示す表現とし、また、茅野市では子どもと家庭を一体的に支援、応援をしてきたことを踏まえて「茅野市こども・家庭の豊かな未来づくり推進本部」とさせていただきました。

背景にですが、平成 25 年に国で「子どもの貧困対策の推進に関する法律」を制定して大綱を定めるとともに、子どもの貧困対策計画の策定を都道府県の努力義務としました。長野県では平成 30 年度を初年度とする 5 年計画として策定した「長野県子ども・若者支援総合計画」に子どもの貧困対策に関わる施策を掲げ、子どもの貧困対策計画として位置付けています。新聞報道によりますと、より身近な場所における計画の推進のため、今後の

法改正により計画策定を市町村へ努力義務とすることが予想されます。このような状況を踏まえた上で、既に茅野市ではどんぐりプランをはじめ、関係する分野別計画において対策を検討し、事業の展開を図っていることから、新たな計画の策定を行わず、推進本部を設置して全庁的に連携し、既存の事業の進行管理を行うことで子どもとその家庭を支えることに必要な事業を包括的に推進することで対応をしていきたいと思います。

事業の推進例については、県の計画を基に 6 つの柱を挙げさせていただきました。

資料のそれぞれの事業につきましては、昨年 12 月に全庁的に調査をし、各課からいただいた回答を含めて、90 の事業を既に実施しています。子どもの貧困対策事業として認識されていない事業等もあると思いますので、関係する事業はさらにあると思います。

役割と体制についてですが、本部会議と幹事会議にて構成され、本部長に市長、副本部長に副市長と教育長、本部員に各部等の長を充て、本部長、副本部長、本部員で構成される本部会議で基本方針と推進方法を決定していきます。各課等の長で構成される幹事会議では基本方針及び推進方法と諸施策の協議を行い、本部会議の資料を調整していきます。事務局はこども課で担います。幹事会議には部課長会議を、本部会議には地域経営会議を充てていく予定です。事業の推進及び進行管理については、関係する市民団体等の皆さんと連携しながら実施をしていきたいと思います。

年間のスケジュールについてですが、推進本部を 4 月 1 日に設置し、行政評価のスケジュールに合わせながら資料の取りまとめを行い、必要に応じて係長を含めた実務者会議の開催を検討しています。推進本部の設置により、市としての取組を市民の皆さんに分かりやすく伝えられるものにもなると思います。要綱の本文については、資料をご確認いただきたいと思います。

続いて、その他 2-3 の資料をご覧ください。「茅野市こどもの居場所づくり推進事業」についてお願いします。補助金交付要綱の関係になりますが、こちらも、子どもの貧困対策の一環となります。目的としては、子どもの健やかな成長を支援することを目的とした居場所づくりの推進となります。子どもが地域とのつながりをもち続けるための環境づくり、また子どもの貧困対策のため、食事提供、学習支援、生活相談等を通した子どもの居場所づくりを推進する事業を実施する団体の支援を行っていきます。ただし、貧困対策を前面に出すと参加しにくくなる人もいると思われるため、あくまで居場所づくりの推進として実施していきます。こちらは県で実施をしている「信州子どもカフェ事業」を参考としています。補助対象については、非営利の市民活動団体または区・自治会、会則等により組織及び運営に関する事項を定めている団体、子どもの居場所づくり推進事業又はこれに類似する事業の活動実績がある団体、子どもの居場所づくり推進事業を行う他の団体と必要な連携及び協力を図ることができる団体というように考えています。

補助対象となる事業については、市内で子どもの居場所を開設する事業、市内の子どもを対象とした事業、市内の子どもの誰もが訪れることのできる事業、食事提供、学習支援及び生活相談のいずれもが実施される事業。市内の同一施設において、1 月当たり 1 回以上

かつ1回当たり2時間以上実施される事業、ただし、市長が特に必要と認める場合は、この限りではないということで、イベント的な事業は対象外としていきたいと思います。また、公共施設において実施される事業、ただし、誰もが訪れることのできる施設において実施される場合であって市長が適当と認めるものは、この限りではないとします。市内で4団体ほど、こども食堂等を実施している団体があります。いずれも公共施設を利用していますが、空き家を活用している団体もありますので、そうした空き家の活用についても、条件を満たせば支援をしていきたいと考えております。また、補助金交付申請の初年度から起算して3年以上継続して実施される見込みのある事業となっています。

補助金の使途については、資料に掲げる科目となります。経費によって補助額が異なります。2分の1か10分の10と考えております。予算額は25万円を計上しています。交付要綱については、本文をご覧くださいと思います。

続いて、その他2-4をご覧ください。「茅野市ファミリー・サポート・センター事業」実施要綱についてお願いします。ファミリー・サポート・センター事業の概要については、お配りしました、どんぐり通信の1ページ目に詳細を記載させていただいています。仕事と育児の両立を支援するため、子育ての手助けをしてほしい方とお手伝いをしたい方が会員として登録をし、地域の中で子育ての助け合いを有償で行う会員組織となります。子育て支援事業の一環として、平成28年4月から茅野市社会福祉協議会に委託をして実施してきました。相談支援の窓口の一本化も目指し、4月から市の直営でこども課にセンターを設置して事業を実施していきたいと思います。内容については、今までとほぼ変わりはありません。ファミリー・サポート・センター事業を市で実施するにあたって、子育て世帯の経済的負担を軽減し、子育て支援の充実を図るため、茅野市ファミリー・サポート・センター事業利用補助金交付要綱を定めました。補助対象者については、利用料金が一回当たりかかってきますので、経済的に利用困難な方などが利用しやすいように、助成・支援をしていきたいと考えております。児童扶養手当を受給している方、茅野市福祉医療費給付金条例に該当する方、市町村民税非課税世帯に属する方が補助対象者となります。補助対象経費は、茅野市ファミリー・サポート・センター事業実施要綱の規定による育児に係る援助を受けることに要する謝礼に限った経費とし、補助金の額は、当該経費の2分の1の額又は当該援助について同告示別表により算定した謝礼の2分の1の額のいずれか低い額とします。また、月額1万円を限度とします。そうした内容を要綱にまとめてありますので、ご覧をいただきたいと思います。

説明は以上となります。

教育長

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

特に無いようなので続いて、その他3「保育所運営審議会委員の選出について」お願いいたします。

#### 幼児教育課長

資料はありませんが、来年度の保育所運営審議会委員の選出ということで、教育委員さんの中から毎年2名の方を選出させていただいています。小林俊恵委員が昨年の9月末でご退任となりましたので、そこに代わる方を本日の委員会後に決めていただき、来年度からの保育所運営審議会委員としてお願いしたいと思います。

#### 教育長

ありがとうございました。

続いて、その他4「全国学力・学習状況調査について」、その他5「永明小学校永明中学校建設基本構想案について」をお願いいたします。

#### 学校教育課長

その他4の資料をご覧ください。平成31年度の全国学力・学習状況調査の予定についてとなります。調査の予定日については、4月18日となっています。調査目的については、資料に書いてある通りとなります。学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるためとなっており、学校では、各学校ごとに分析をしたものを家庭へ配布をしていく予定となっています。調査対象になりますが、小学校6年生と中学校3年生が調査対象です。こちらについては例年通りとなっています。調査の内容になりますが、1つ目は教科に対する調査、2つ目は生活習慣や学習環境等に関する質問調査となっています。2つ目については例年通りとなっていますが、1つ目に関しては、小学校が国語と算数、中学校が国語と数学と本年から英語が新しく入ってきます。

資料下段の中学校時間割をご覧ください。英語については「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の3つの分野から成り立っています。特に「聞くこと」「読むこと」についてはICTタブレットを使って、聞き取りや話すことによって採点を行う予定となっています。尚、英語については次回3年後に行われる予定となっています。それから先については未定となっています。

その他4については以上となります。

続いて、その他5の資料をご覧ください。永明小学校永明中学校建設基本構想の案となります。こちらについては昨年、「第1次茅野市小中学校管理計画」を策定しました。それに基づき、永明小学校、永明中学校の建替えについて検討をしてきたところです。本年度の5月から永明小学校と永明中学校の整備について「永明小学校永明中学校等建設検討委員会」を立ち上げ、9月までに5回の委員会と3回の幹事会を開催しました。学校を中心とした周辺整備等についてご検討していただきました。その後、10月から今年の2月28日までに5回の委員会と1回の幹事会を設け、永明小学校永明中学校建設基本構想・基本計画策定委員会の中で検討をしていただきました。こちらの資料が2月28日の最終の委員会

をもって、提案を取りまとめたものになります。昨日、委員長、副委員長が市長に提出をしました。

1 ページ目の永明小学校永明中学校建て替えの背景についてですが、両校が隣接した立地を活かし、周辺公共施設との連携を見据え、建て替えにより施設一体型で整備を行うこととした内容となっています。

2 ページをご覧ください。永明小学校永明中学校建設基本構想・基本計画策定委員会における基本構想の検討についてとなります。先程、冒頭で述べさせていただいた通りのスケジュールで行ってきた旨を記載してあります。

3 ページをご覧ください。こちらは市内全般についての内容となっています。目指す学校の姿であり、茅野市の教育理念を記載してあります。

4 ページをご覧ください。こちら茅野市の学校施設の目指すべきすがたとなっており、茅野市全体のことを示す茅野市小中学校整備計画の内容が載っています。

5 ページをご覧ください。こちらからが、永明小学校、永明中学校のオリジナルのものとします。永明小学校、永明中学校の目指す学校のすがたについては、永明小中の固有の事項について委員会で8つの柱にまとめました。1つ目が地域とのつながりを大切にした学校。2つ目が保育園・小学校・中学校が連携した学校。3つ目が中心市街地の立地を活かした学校。4つ目が地域の特色を活かした教育を推進する学校。5つ目が環境を活かした学校。6つ目が学ぶ力を育む学校。7つ目が安心・安全な学校。8つ目が防災機能を備えた学校となっています。

6 ページ、7 ページをご覧ください。只今の理念を抑えまして、施設としてどのような方針で整備をしていくかを10の柱でまとめてあります。1つ目が施設・敷地を一体的にとらえた整備。2つ目が保小連携、小中一貫教育の推進に資する施設の整備。3つ目が小学校と中学校の共有施設の整備。4つ目が地域との交流スペースの整備。5つ目が周辺公共施設と連携できる施設の整備。6つ目が環境に配慮した施設の整備。7つ目が将来を見据えた施設の整備。8つ目が安心・安全な校舎の整備。9つ目がユニバーサルデザインを取り入れた施設の整備。10番目が避難施設としての整備となっています。

8 ページをご覧ください。配置計画・ゾーニングの基本的な考え方についてとなります。1つ目が建て替えの手順について。2つ目が校地全体の計画。3つ目が校舎の配置計画。4つ目が屋外運動場の配慮について触れています。

9 ページから12 ページまでをご覧ください。

委員会で出された4つのゾーニングの案になります。こちらはあくまでもモデル案ですので、検討したものを参考としていただき、設計業者が設計をする際の一つの助けとしていただきたいと考えています。

13 ページをご覧ください。スケジュールについてとなります。昨年度から企画を始め、本年度までは基本構想の作成ということで進めてきました。これを基にして、基本構想を案から基本構想として固めていきたいと考えています。来年度につきましては、設計者の

選定ということで、プロポーザル方式で行っていきたいと思っています。プロポーザルの業者にて実際に基本計画、基本設計、実施設計を 2020 年度までに行っていただくことになります。その際に、こちらの基本構想を参考としていただき、それぞれの計画を発表していただくことを考えております。2021 年からは実際に施工していただく業者の選定をし、工事に着手していくような流れとなっています。

その他 5 については、以上となります。

教育長

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

矢崎職務代理者

完成予定はいつ頃になりますか。

学校教育課長

完成については、遺跡の関係があり、いつ頃になるということはまだ分かりません。

通常であれば、3 年間ぐらいで完成します。長峰中学校では完成までに 3 年間ぐらいかかりました。永明小学校、永明中学校については、それより長くなることが予想されます。およそ 5 年から 7 年ぐらいはかかるのではないかと考えています。

昨年、永明小学校の校庭を試掘したところ、遺跡が発掘されました。永明中学校グラウンド遺跡の範囲が広がり、敷地のほとんどが遺跡になります。

新年度につきましては、地質の調査ということで、中学校のグラウンドにてボーリング調査を行う予定です。

濱委員

遺跡の調査については、スケジュールのどのタイミングで行いますか。

学校教育課長

どの場所に建物が建つかが決定をしないと、遺跡の調査ができませんので、設計がほぼ出来上がってきた段階で、文化財課へお願いをし、発掘調査に入る形になります。

早ければ 2020 年頃から遺跡の発掘調査ができると思います。

教育長

現在、安心・安全な学校を目指すということで、全国的には要塞化された学校が多くなっています。その中でどれだけ安心・安全を確保しながら地域に開かれた学校を建てて

いくつかが課題となっていました。基本構想委員会の皆様が地域とのつながりを大切にしてくれたということで、素晴らしい構想だと感じています。

続いて、その他 6「長野県宝『信州の特色ある縄文土器』の貸出しに関する基準について」をお願いします。

文化財課長

資料その他 6 をご覧ください。長野県宝「信州の特色ある縄文土器」の貸出し基準についてとなります。

昨年の 9 月 27 日に茅野市では 47 点の所蔵資料が対象となりますが、県内で 158 点の所蔵資料が長野県宝とされています。長野県の文化財保護条例では、国の指定文化財の規定に基づいて、保存、活用等をしていくとなっています。それに倣い茅野市でも基準を設けたところです。貸し出しの条件については、文化財保護法の規定に基づき、国指定文化財と同等に取り扱うものとして承認したものになります。長野県、または長野県教育委員会が直接の借用者となること。または借用者が事前に長野県教育委員会の承認を受けていることが満たされていなければいけません。かつ、貸出条件の（4）から（10）までのすべてを満たしていることが条件となります。

貸出期間及び貸出回数については、公開日数が 150 日以内ということで、貸出期間と同様となっています。貸出回数については年 2 回となっております。国の重要文化財と同等の扱いをして、資料を保存、活用していきたいと考えております。

教育長

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

特に無いようなので、次に次回の日程についてお願いします。

教育総務係長

次回 4 月の予定になります。定例教育委員会を 4 月 23 日（火）午前 9 時 30 分から 705 会議室で行います。事務局会議については、4 月 11 日（木）午前 9 時から 705 会議室にて行います。よろしくお願いいたします。

教育長

ありがとうございました。以上で 3 月定例教育委員会を閉会いたします。

茅野市教育委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定によりここに署名する。

平成 31 年 4 月 23 日

茅野市教育委員会

教 育 長

同職務者代理

委 員

委 員

委 員

こども部長